

# 輸送経済

8/12

THE YUSO-KEIZAI

第2809号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

平成20年  
(2008)  
(火曜日)  
週刊

## 横浜営業所を開設

富士物流 今期売り上げ13億円に

富士物流(本社・東京、横浜市鶴見区に横浜営業所を開設した。小林道男社長)は、

首都圏を中心に、大手精密機械メーカーの物流事業を引き受ける。数カ所あった顧客の倉庫を集約。

トヨタ製生産方式(TPS)を取り入れ、徹底した合理化、コストダウンを図る。

今期の売り上げは十三億円を見込む。「来年、再来年に向け、逐次新しい倉庫を増やしていく」(小林社長)。

来年春に新中経海外と外販拡大  
富士物流の第一四半期の業績(連結)は売上高

百四億二百万円(前年同期比三・三%増)、営業利益三億二千三百万円(同三九・八%増)の増収増益となった。

また、小林社長は、最終年度を迎えた中期経営計画(平成十八〜二十年度)について、「売り上げは未達成だったものの、利益率はほぼ計画どおりだった」と振り返った。

来年春から始まる新中期経営計画は「グローバルと外販比率拡大」(小林社長)が重点課題という。

タイ、ベトナム、インドなどの、東南アジアへの進出を視野に入れる。外販比率は六割を目指す。現在の外販比率は約五割。毎年二割以上拡大させる。